

令和 6 年度第 1 回（第 13 回）
 おいらせ町百石高等学校魅力アップ推進協議会 会議録

日 時	令和 6 年 9 月 3 日（火） 10 時 30 分～11 時 55 分	
場 所	おいらせ町役場 本庁舎 201 会議室	
案 件	(1) 令和 5 年度の取り組み状況について (2) 令和 6 年度の取り組みについて (3) 今後の取り組みについて	
出席者	【出席者】 9 人 会 長：澤上 訓 （一財）百石高等学校後援会 理事長 副会長：吉田 長一 社会福祉法人 奥入瀬会 事務長 委 員：川村 秀典 百石高等学校 PTA 会長 委 員：志村 博 青森県立百石高等学校 校長 委 員：松林 義一 おいらせ町教育委員会 教育長 委 員：村田 瑞樹 おいらせ町連合 PTA 代表（下田小） 委 員：中村 淳悦 元高校事務長 委 員：田嶋 裕行 シルバー人材センター 委 員：楨 公彦 三沢公共職業安定所 所長 【欠席者】 0 人	
	事務局	政策推進課 課長 田中 貴重 課長補佐 川原 真栄子 主査 三浦 弘嗣
傍聴者数	0 名	

● 2. 会長あいさつ

発言者	発言内容
会長	おはようございます。 本日は、令和 6 年度の第 1 回目ということで、新しい委員の方々が 3 名ほどいらっしゃいますので、後ほど事務局からご紹介いただけたと思います。 百石高校魅力アップのためのご意見、アイディア等をたくさんいただきながら、これまでいろいろな高校への支援を行ってきています。 今年度も新しい取り組み等がありますので、それらについても皆様からご意見等を伺いながら、良いアイディア等が生まれればまた、良

	いのかなど思っております。 また、余談ではありますが、先般の新聞で野辺地西高等学校が五戸町に移転してくるという記事が載っていました。これはおそらく野辺地西高等学校の方が、周辺の人口減少、いわゆる生徒の少ない状態の中でやるよりは、企業ですので、やはり人がある方へ来るということは当然のことと思います。 いろんな動きがある中で今後の百石高校の魅力アップへ支援していくという部分でもそういう部分も気かけながら、お話を伺えれば大変ありがたく思っておりますので、よろしくお願いします。
--	--

●案件（1）令和5年度の取り組み状況について	
発言者	発言内容
事務局	～資料説明～
会長	事務局から説明がありましたが、皆様からご質問を受けたいと思いますが、確認で、支援の柱2の2番のバス通学費激変緩和補助金は今年度で最後ということでしょうか。
事務局	そのとおりです。
会長	支援の柱3でコロナ等の関係で実施できなかった部分がありますが、高校生レストランへの支援や百石まつりへの出演のところについては、百石高校の校長先生から見通し等について皆様に教えていただければと思っています。
委員	高校生レストランにつきましては、食物調理科が活動をしているのではなく、食物調理科の生徒で構成される調理クラブが実施してきましたが、その部員が激減して、以前のようなレストラン形式ではできなくなったというのが実情です。ただ、活動停止をしているのではなく、いずれ増えることを含みに入れながら、現在は、町内、三沢や八戸から様々なイベントの時に声がかかっていますので、単発的な様々なイベントに参加しております。 やはり高校生レストランは需要があり、様々なところから声がかかっていますので、例えば喫緊であれば、9月28日、29日に三沢空港の空の日祭りというのが、今年初めて開催されるということで、そこからイベントの参加案内などが来まして、人数が少ないので2日間は厳しいということですが、28日に調理販売を数量限定ですけども、実施するというようなことで少しは活動しております。 ただ、現在の予算での支援はいわゆるレストラン形式への支援ということになりますので、そういうことでは支援はいただいていません。あくまで学校での活動ということで学校から経費等は出しているとい

	う状態です。活動を停止しているわけではありません。 あと、百石まつりへの出演ですが、コロナで3年間お祭りができなかったということで、高校生が全員入れ替わってしまい、祭りに出演していたということもわからない世代に変わり、教員も半分以上変わり、また、当時の担当者も転勤したことで、どのようにやっていたのかわからないということもあり、昨年は年度計画ではなく、突如といえますか祭りがやれることになった状態になってからお話をいただいたので参加ができなかった。 特に9月のちょうど20日前後というのは、高校生にとっては3年生の就職が9月16日から解禁になるってということなので、毎日放課後、就職希望の全生徒と、全教職員で面接指導等をやっております。そうしますとなかなか祭りのための参加者というのが、集まらない。 高校側としては、むしろどんどんやってくださいということで、町からも全校集会の機会に来てアピールしてくださったり、実際に流し踊りの実演をしてみたりして、募集をかけているところなのですが、昨今の様々な諸事情のため、1年生2年生の方もどうも出足が遅いというようなことで昨年はその突如上がってきた計画でしたので参加できず、今年は少しでも参加させたいなというふうに今思っているところです。
会長	今学校の方レストラン支援とか祭りの出演とか、そういったものに関しての見通しっていいですか、ご説明していただきました。 それでは、ただいま事務局が説明した全般についてご質問などございましたでしょうか？ 新たに入られた方々にとっては今初めてなので非常に質問しにくい部分もあろうかと思えますけども単純なことでも結構ですので。
委員	1ページ目のキャリア教育支援は「なし」になっていて3ページの補助金の実績ではキャリア教育支援として補助金の実績が記載されているが、この違いが何かわからなかったもので、教えていただければと思っていました。 あと1ページの一番の学習塾費用助成とか模擬試験受験料のところ、模擬試験受験料を1年生2年生はありますけど3年生がなし。去年は6名ぐらい受験していたのかなというのがあってですね。 令和5年度になしってところのもし事情がわかれば、例えば受験する希望者がいるわけではないのかなという気がしていますので、もし周知不足で生徒も知らなかったのであれば周知も必要なのかなというふうに思いまして質問させていただきます。
事務局	資料1ページのキャリア教育支援なしのところはこちらの記載ミス

	になります。 5 年度の町の補助金の実績資料 3 ページのキャリア教育支援のところにあり通り各種講師の方をお願いしておりましたので、記載ミスということになります。 模擬試験等の受験料の 3 学年がなしの理由は事務局側で把握していないため、校長先生から説明をお願いします。
委員	大学入試の方法がだいぶ変わってまいりまして、いわゆる共通テスト等を受けてのではなくて、総合型選抜といういわゆる昔の A0 入試にいろいろと加味したものって考えていただければいいのですが、それだとどちらかといえば学力試験というものよりも、いわゆる小論文とか面接対策とか、こういうものの方が多いものですから昨年は 3 年生になって模擬試験料助成を受けた者がいなかったらう。 ただ、大学受験を想定している 1 学年 2 学年は、自分の学力を知るという手立てのために、模擬試験を受けている関係で実績が出てきている。 3 年生は自分の進学したい大学の入試方式合わせていくということで模擬試験の受験者がいなかったということですので決してその周知不足ということではない。

●案件（2）令和 6 年度の取組について	
発言者	発言内容
事務局	～資料説明～
委員	～令和 6 年度事業の補足説明～ 資料 4 ページの支援の予定ですが、昨年度は、新聞購読支援っていうのがありましたが、今年度消えております。なくしたのではなくて、いわゆる紙媒体の新聞というのは非常に経費がかかるということで各それぞれ学校には 1 人 1 台端末タブレットを所有しています。 これに、学校関係であれば無料で使える様々な新聞のピックアップ記事を読めるアプリをインストールしております。 その結果、紙媒体の新聞の購読支援 11 万 8050 円をもっと有効的に生徒の効果的な教育に使えないかということで今年度の補助金を組んでいます。 補助金として支援していただくのであれば、高校生全員に何か支援していただけるものがないかということで、学習支援システム Classi というソフトを令和 5 年度から導入していますが、1 人当たり 3980 円かかる利用料を学力向上支援の中から、1 人 1000 円ずつの補助をして

	もらっています。 この Classi は各県の様々な高校でも導入しておりまして、毎学期、学期初めの基礎学力テストの結果が、自動的にこの Classi の中に入るようなシステムになっている。そうすることで自分のその学力の向上、もしくは不得意教科のポイントとかが全部タブレットで調べることができるので、自分の学力の向上を分析できるというようなこともあります。 そしてさらに学習塾支援では、進学塾を目当てに補助していただいていたのですが、入試形態がだいぶ変わってきまして、共通テストというふうなための学力向上ということよりも、様々な経験を積んでいくことの方が、大学受験の場合大事になります。 それから、公務員を志望する生徒も多くなってきたものですから、その公務員の講習会、公務員の受験の講習会というのもあります。 こういうのは結構な金額があるものですからそこを受験する生徒にも支援をいただけないかということで、町とですね、本校の教頭、事務長、そして進路指導部の主任といろいろと折衝をいたしましてこのような形にさせていただきました。 それから、スキルアップ支援ということで資格取得を奨励しておりますが、今までは英検準 2 級だけは実費支給でそれ以外は半額補助でしたが、検定に合格した場合は実費支給と変更していただきました。これにより、積極的に取り組む生徒は経済的な負担がなく、自分の努力で資格が取れるということになりました。 こないだ合格発表だった英検では 3 年生で準 2 級合格者がおります。それから 3 級合格者も複数名おりました。 このように支援の方向性として 1 番には全員への支援、2 番には、頑張る生徒にさらに支援っていう形でやっております。 あとキャリア教育支援の部分ではオープンキャンパスのための参加費用は、オープンキャンパス参加する生徒は多いのですがそれを申請する生徒が少ないというところがあります。その理由として保護者の方が一緒に車に乗せて見に行くことが多く、費用が客観的にわかりにくいことが申請に繋がっていない要因です。 決してオープンキャンパスに行っていないということではなくて様々、専門学校、大学も含めて、行っております。 支援の柱 2 になりますと町民バスの運行ということで北線 2 便を残して下さっておりますけども、おいらバスの利用が非常に最近高くなってきたなというふうに見ております。 あと三沢や八戸方面からの路線バスが通っているエリアの生徒は路線バスを活用しています。
--	--

	どうしてもバス通学が不便なところは、車で送迎してくださっているところが多くなってきたなというふうに思っていました。 バス通学費激変緩和については、なかなか利用実績はないのですが用意してくださっているってということで、ありがたいことだと思っております。 5 ページにいきまして町長とのフレッシュトークはこれからの実施となります。 行政の長と触れ合うという経験はなかなかありませんので、例えば八戸三沢の学校で町長とのトークはなかなかそういう機会はないと思っています。百石学校は町に支えられているところもありまして、町の行政の話を町長や各課の課長たちが話してくれるのはありがたいことだと思っております。 支援の柱4につきましては高校生による記事作成もまた11月号に掲載される予定であります。 それからインスタグラムの方も開始当初は100名ちょっとしかフォロワーがいなかったのですが昨年度、一気にぐっと伸びまして現在240名で、当初フォロワー200名を目標としていましたがそれを突破いたしましたので今後は300名を目標にまた頑張りたいなと思っていました。 私の方から先生方、もしくは生徒が撮影した写真で、掲載できるようなものを、町側に送り、アップしています。 ますますこれからもやっていただきたいと思うのですが、もっと周知が必要かなと思ひましておそらく町の職員の皆さんや議員の皆さんの名刺の裏には、町のホームページのQRコードなんか載っていると思いますが、その隣にでもですね、百石高校のQRコードが入って印刷されてくれると、もっとフォロワーが増えるのかなというふうに思っております。また別として様々なところでそのQRコードなどのアクセス方法を出していただくと百石高校の活動がよく見えるのかなというふうに思っております。 あと町との連携事業ということで本当に令和4年度から計画して5年度が始まりましたLoveおいらせ事業につきましては、コーディネーターが頻繁に学校に来てくださりまして、様々部員に指導してくださっています。部員の生徒の成長も著しいもので、最初の発表会に比べれば、生徒の言葉も非常に滑舌も良くなりまして、またすごい自信にあふれた発表するようになりました。 今年度も部員が増えておりまして、成果発表会の期日が決まれば皆さんにも紹介したいと思うんですが発表会ぜひとも楽しみにしていただきたいというふうに思っております。 同時にそのCM大賞も百石高校の方に任せていただいているというこ
--	--

	とで、町の魅力発信を高校生が自覚を持って向き合っていけるような、教育効果を上げていきたいというふうに思っております。 今年度はこのように町から支援をいただいております、本当に様々な活動に他の学校ではできない活動ができております。 さらに今年度は、百石高校は三菱みらい育成財団という高校生の支援を行っている財団の支援の採択を受けまして、年間 200 万円、3 年間で 600 万円の支援も受けることができ、魅力的な総合的な探究の時間の活動ができています。
会長	令和 6 年度の取り組みを校長先生からこういった内容のものなのかを詳しく説明していただきましたので、新しく委員になられました 3 名の皆様方も少しずつどういう動きがあるのかなってというのが見えてきたのかなというふうにも思っております。 今、事務局と校長先生から説明がありましたので、どんなことでも結構です質問なりご意見なりをいただければ、非常に有意義な会議の場になると思っておりますので、よろしくお願いいたします。
委員	この会議の設立の目的は百石高校への入学希望者を増やすこと、中学生から選んでもらうためにはどうするかというのが裏に隠された大きな問題です。 中学校の 3 年生が、どういう考え方で高校選択をしているのかっていうことを踏まえ、一度考えていく必要があるかなと思っています。 これも今、深刻な状況に陥ろうとしている。何かというと、野辺地西高校がこちらに来ます。 今でも百石中学校からサッカー、野球をやるという中学生があちらにいっぱい行っています。 ですから、野辺地西高校が五戸町にくることで百石高校が影響を受けます。私立高校の今までのイメージは、私立に行くとお金かかるっていうのですが、高校の無償化ということで、そうではなくなって現に八戸市内の私立高校を選択する中学生がものすごく増えていきます。こういう中でいかに中学校 3 年生のときの進路選択のときに百石高校を選んでもらえるかとなるとやはり中学生にアピールする。 中学校にアピールするためには大学入試の仕組みが少し変わってきたと言いながら、やはり大学受験のために学力を上げてもらえるのかどうか、あるいは高校から大学、卒業時の進路選択のときにどのくらい高校で面倒見てくれるのか。 こういうアピールの仕方を中学生にしないと選んでもらえない。 百石中学校は私がいたときに比べて、半分になってしまいました。 生徒数百石下田中学校はほぼ変わらない。木ノ下中学校は若干増え

	ている。町全体としては現状維持しているのですが、問題は三沢の子たちも減っています。 三沢一中、堀中、五中のおいらせ町に来ても良さそうな距離にある学校も減っています。肝心の八戸市の市川中学校も当然減っています。 こういう中で百石高校に生き残ってもらうためには、他の学校と競争してこっちに引っ張ってくる必要がある。そのためにも中学校3年生のところに行って、百石高校に入ったら、このくらい面倒見てあげますよ、というアピールがほしいなと思っています。校長先生を始め、高校の先生方にあまり負担をかけたくはないと思っていますが、実施していただきたいと思っています。 また、以前軽米高校に視察に行きました。あのとき、コース別に子供たちを面倒見てくれている姿がありました。 大学受験の方も徹底して、学力向上や小論文などの受験のために必要な勉強を行っている。 これを中学校に行ってアピールできないか。とにかく中学生にアピールしないと、極端な言い方であれば、町民にアピールする前に中学生にアピールしないといけない。 中学校の先生は生徒に対し、どこの高校での選べるように視野を広げることが役割であり、百石高校だけを勧めるわけにはいかない。 とにかく、中学生に選んでもらえるようにアピールをして否かえればならない。
委員	感想として校長先生から生徒に公平にある程度支援できるようにということでC l a s s iの補助を行っているとなりましたが、それは良いことだと思います。しかし、教育長も言っていたように、中学生や親御さんは百石高校に行くと、卒業後はどこに行けるのかが大事だと思っている。 近辺の人たちは公立高校に行かないで、八戸市の私立高校に行くことが多い。私立高校に行くのは卒業後の進路がわかりやすいので、それを目指して行っている。 そのため、公平も良いと思うが、スキルアップ支援などはやる気のある生徒にどんどん補助すべきだと思う。そうでなければ百石高校は厳しくなっていく。 いずれにしても、百石高校の卒業後の進路をしっかりと示していく必要があると思う。
会長	百石高校魅力アップ推進協議会の目的や具体的に足りていない部分について意見等をいただきました。 校長先生から進学に関する特殊なクラスの設置や出口としての卒業

	後の進路などについて見通し等を教えていただければと思います。
委員	卒業後の進路については本校なりに取り組んでいます。 学校の中でMゼミという総合的な学力やコミュニケーションスキルなどの様々な部分を選択し伸ばしていくという取り組みを行っており、今年度はここ数年の中では一番人数が多くなっています。 魅力ある出口が何なのかは議論の余地があると思いますが、私としては、本校に入学した生徒が自分の望む進路にしっかりと進ませることが学校としての役目だと思っています。もちろん目標として大学進学であれば国公立大学、就職であればネームバリューのある企業入ることも大事だと思っています。 このような目標を達成させたいと同時に伸びしろがある子供たちをどこまで伸ばしてあげられるかということも高校の役目だと思っています。 今後、中学生などのターゲットエイジに対してどのようにアピールしたらよいかこの会議で指摘いただきたいと思います。
委員	中学生へのアピールとして百石高校の方から中学校へ連絡して1年生や2年生からでも学級活動の時間を頂戴して百石高校での生活や卒業後の進路を高校の先生から伝えてもらえれば良いと思います。 中学校にちょっと相談するとおそらく大歓迎されると思いますので、1年生のうちから百石高校を刷り込むことも可能だと思います。
会長	3年生だけでなく1, 2年生に対して百石高校の魅力を説明していくことで、徐々に中学生も理解して高校は違うと思うようになってきました。 残り時間も少なくなってきましたので、案件2の話も継続しながら案件3の今後の取り組みについて事務局から説明をお願いします。

●案件（3）今後の取組について

発言者	発言内容
事務局	～資料説明～
会長	今年度初めて、高校魅力化コーディネーターを募集して、高校と地域をうまく結びつける役割ができればという説明でした。案件2からの話も含めて聞きたいことがありましたらどうぞ。
委員	小学生や中学生がどうやって高校を選ぶかとなると学力もそうですが、それなりに部活が盛んな学校であれば人が集まってきます。学力的な部分も必要だと思いますが、部活動にも何かしらの支援等をしていただければ、中学生が選べる学校になるのではないかと思います。

会長	現実には、生徒の数も減っており、部活が組織できなくなっています。今のようなご意見も今一度考えてみる必要があるかと思います。
委員	支援の内容を見ると学力向上がメインですが、実際のところ就職と進学割合はどのようになっていますか。
委員	就職7割、進学3割です。進学の中でも半分程度は大学・短大で残りの半分が専門学校という感じです。 就職7割の内、結構な割合で地元就職となっています。県外就職は少ないです。
委員	就職組への支援はどのような形が良いのかわかりませんが、学力も必要だと思いますが、面接でのコミュニケーションも重要なので、そういった形の支援とかも高校でやっているとは思いますが、講師等を呼んでの支援があれば、進学組だけじゃないところにも力を入れていくと、先ほどの出口の話で就職組にも魅力があるよという方向でもアピールできると良いと思います。 案件2に戻りますが、支援1の学習塾の費用の助成には専門学校も含まれていますか。
委員	専門学校に行く生徒たちは学力系の試験があるわけではないので基本的に塾に行きません。 今年度は、公務員の学習塾等にも支援を広げてもらっています。
委員	百石高校で1日体験入学みたいなものは行っていますか。
委員	毎年やっています。今年度も夏休み前にやりました。ただ、非常に暑い盛りですので、本当は部活動などもやって見せたかったのですが、なかなか時間的にできず、また、体育館で集めてやるには暑いので保護者にも中学生にも酷だということで冷房の効く教室でオンラインで学校説明や動画を流すなどして実施しました。 就職支援の部分で、おいらせ町内の会社の方々に来ていただいて、就職希望者に対する面接練習も行っています。もっと効果的な方法があるのであればご助言いただければ助かります。
委員	中学生と高校生の子どもがいるのですが、中学生2年生の子どもの同級生たちから話を聞くと、今のところ進学先を決めるときに残念なことに百石高校を外して考えるっていう意見が多いらしいです。 先ほど、教育長が言ったように高校と中学校の連携がもう少しあるといいのかなと思っています。中学校は、高校が禁止していると中学校も禁止というものが多いです。昨年でしたけども高校の校則の見直しがあり、髪型の自由度が上がったところ、中学校もやっても良い髪型が増えたようです。 高校もすごく努力して色々変えていますっていうのが見えてくると

	百石高校の見え方も変わってくると思います。やはりそういった部分で連携があれば中学生たちの意識も変わってくると感じています。
委員	新聞に野辺地西高校が五戸にくるという記事が載りましたが、いいよかと思いました。生徒数が減少すると廃校の危機があるので、対策の構想を練っていますけども、そこまで火が来ている状態だというのは間違いないと思います。 その中で百石高校がなくなると誰が困るのか考えてみたところ、町内の事業者は百石高校生を採用しているところも多いので困ると思います。町内から何人入学しているかわかりませんが、親も困ると思います。 具体的な目標、明日からやろうっていうふうなことを話し合わなければ、将来もっと早くやればよかったなとなると思います。 私のところでは、毎年入ってもらえているわけではありませんが、職員の採用は相当頼りにしています。 教育長が言ったように中学生に対する PR も私は小学生でも良いと思います。交流の場を設けるなり、例えば百石まつりを百石高校で乗っ取る勢いでやってもらえるとニュースにもなりますので、勉強だけじゃなくていわゆる楽しい学校というか、変わった学校というか、そのようなビジョンがあっても良いのかなと思います。
会長	明日から何をやるべきなのかという、その具体的な道筋というか、そういったものが結構見えてくれば、今度はまた我々の役割っていうのも、非常に具体的に表に現れてくるのかなという気もしています。 色々なご意見を出していただきながら高校もできる範囲のものについては努力していただける方向で何とかお願いしたいと思います。
委員	今後の取り組みについて、私自身の思いとしては、就職支援について新しい取り組みとして地元の企業が企業説明会だけでなく、長期的なインターンシップみたいな感じで、地元の企業が賃金を払ってでも来てほしい旨をアピールして、職場に来てもらって手伝ってもらななどして、地元就職を進めてはどうでしょうか。大学や専門学校も大学に入学する生徒数が減少していますので、各大学や専門学校と協定などを締結して、その大学に入学しやすいという連携をしてはどうでしょうか。 食物調理科についても、調理師免許が取れるだけでなく、有名な調理師専門学校などと連携して、専門学校の先生に来てもらって指導してもらおうというものを強化した方が良いと思います。連携に係る費用は専門学校に持ってもらえれば良いと思います。 高校魅力化コーディネーターとしての地域おこし協力隊には、学校

	と行政、民間との中間に入っていてどんどん動いていただければと思います。人選の段階で行政だけでなく学校側にも面接に入っていてより良い人材を入れていただければと思います。 バスの激変緩和補助金が全然使われなかったと思いますが、自家用車での送迎の場合、ガソリン代の補助もいいと思います。 百石高校もおそらく RC 造でおそらく耐用年数がそろそろ見えてくるとは思います、校舎が古くなってきたときに、どうするかということも出てくるとは思います。 総合的なハード面ソフト面でいろんな面で考えていなければならぬ時が来るとは思います。
会長	中村委員には本日のまとめのような意見をいただきましたが、意見が活発に出てくることによって時間が足りなくなっています。 時間的に本日は終了しなければならないということで、今年中に 2 回目の会議を開催して具体的な支援策がまとまるとは思いますので、ぜひよろしくお願いします。

●その他	
発言者	発言内容
事務局	地域おこし協力隊の募集に関連しておためし地域おこし協力隊というイベントを開催する予定です。その際に交流会を行いますので参加いただける方には参加をお願いします。
委員	高校魅力化コーディネーターの話が出ましたが、地域おこし協力隊員の活動の拠点として、生徒会館を活用できないかと考えています。その場所を小学生や中学生が様々なイベントやワークショップなどを行うときに活用して地域の方々との交流の場として利用しながら、中学生が百石高校を訪れやすい環境を作ることによって高校の魅力化や町おこしにつながるとは思います。 地域おこし協力隊員の面接にも高校の進路指導部や教頭も含めて参加させていただくなど、さまざま協力させていただいています。 周辺中学校へのチラシの配布がありますが、チラシの配布以外に校長として百石高校に通っている生徒の出身中学校の校長先生とお会いし、百石高校の説明や生徒の現状などをお伝えしています。 教育長から話がありました、中学校での PR について、校長だけでなく教員が行って説明することはやりたいと思いますが、昨今教員は非常に多忙ですので、高校の魅力化コーディネーターが自由に小中学校に行って PR する機会を作っていただければ魅力がアップするのではないかと考えておりました。

●その他	
発言者	発言内容
会長	おためし地域おこし協力隊の２泊３日の旅費とかはどうなっていますか。
事務局	地域おこし協力隊になる要件として三大都市圏等に住所があることとなっていますので、その住所地からおいらせ町までの交通費については、参加者が負担することになっています。おいらせ町に滞在する際の宿泊費については、委託先の業者から一部補助していただく予定となっています。また、滞在中の飲食費は参加者負担になります。
会長	例えば八戸駅からおいらせ町までの送迎などあるともいますが、参加者の送迎はどうなっていますか。
事務局	八戸駅からおいらせ町までの送迎は、委託業者側でレンタカーなどを使用する予定です。